

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成30年3月28日(水)午後7時00分～午後9時00分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	瀬戸 篤地区議長、山川亜紀子委員、長ヶ原美博委員 神木基晴委員
事務局	鶴瀬公民館長、同副館長 (合計6名)
欠席者	なし
会議録確認	瀬戸 篤地区議長
公開・非公開	公開(傍聴人 0名)
会議次第	(1) 報告事項 ① 鶴瀬公民館事業報告について ・ 鶴瀬学級修了式 3/1 ・ 市民大学修了式 3/3 ・ お母さんのステップアップ講座「アロマセラピー講座」 3/9 ・ 青年学級 電車でGo 3/11 ・ 利用者懇談会 3/14 ・ 生活文化講座「山のススメ」高尾山 3/24 (2) 協議事項 ① 平成29年度鶴瀬公民館事業評価について (3) その他
会議資料	平成29年度鶴瀬公民館事業報告件事業評価
会 議 内 容	
<p>○傍聴希望者がいないことを確認。</p> <p>(1) 報告事項 館長より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴瀬学級修了式 3/1 受講生208人対象</li> <li>・ 市民大学修了式 3/3 年間出席率70%以上の人に修了証書</li> <li>・ お母さんのステップアップ講座「アロマセラピー講座」 3/9 25人参加</li> <li>・ 青年学級 電車でGo 3/11 26人参加 上野動物園と国立科学博物館に分かれて観光</li> <li>・ 利用者懇談会 3/14 26団体29人出席 施設に関する要望等あり</li> <li>・ 生活文化講座「山のススメ」高尾山 3/24 22人参加 3回の延期の末ようやく実施できた。</li> </ul> <p>(2) 協議事項</p> <p>① 平成29年度鶴瀬公民館事業評価について 資料に基づき、担当委員より説明</p> <p>○子育てサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お母さんのステップアップ講座 お母さんからの相談が多い地域なのか。 →定員制でキャンセル待ちも多い。</li> </ul>	

- ・子育てサロンサポーター  
子育てサロンに参加した親が子どもが大きくなって、次のステップとして、サポーターになる、という良い流れができています。
- 子育てコーチング講座
  - ・親同士のつながりができ、また孤立を防ぐ場として公民館はいい場になっている。
- 小学生体験教室
  - ・学校で経験できないものを公民館で体験できる。
- 鶴瀬学級
  - ・公民館活動の原点の事業である。
  - ・新しい参加者が入らないという問題がある。
- 高齢者サロン
  - ・参加者は毎回楽しみとして、定着している。
  - ・歌など、一人ではなくみんなで一緒に声を出し参加できるのがいい。
- パソコン相談室
  - ・対象者の年齢層は 40 歳代から 60 歳以上様々で、目的も様々。
  - ・何歳になっても挑戦しようという気持ちの方が多い。
- つるせ公民館まつり
  - ・発表の場をどう設けるか大切。仲間と発表することによって交流の場ができる。
- 子どもフェスティバル
  - ・規模が大きいのので課題は必ずできるものなので、その都度改善していくことが大事。
- 市民大学
  - ・公民館と市民団体との協働事業
  - ・中学生くらいの年齢層から引き込めるような事業になればいい。
  - ・70 歳 80 歳と高齢化が進んでいる。若い世代をどう呼ぶか。
  - ・親子での参加も対応できる内容も検討しているが、難しい部分もある。
- 平和・憲法啓発事業
  - ・ピースフェスティバル—実行委員の力が大きい。
  - ・戦争体験を聞く会—体験者が年々減ってしまうので、工夫が必要。
- ふじみ青年学級
  - ・いろいろな人、団体との関わりができるといい。
- 地域自治シンポジウム
  - ・聞いて帰るだけでなく、手を挙げて発言するほどでなく、何かをしゃべって帰るというのが、よかった。
  - ・「シンポジウム」というタイトルが難しすぎて参加しづらいと思うので、もう少し柔軟なものにした方が参加しやすいのではないかな。
- 公民館だより
  - ・年間 10 回発行しているが、題材を考えるには苦労がある。
  - ・紙面を見ての間合せが結構あり、地域広報誌として機能している。

※最終的に、館長の総合評価を入れ、「富士見の公民館」としてまとめる。

閉会

